

令和1年度  
(第8事業年度)

# 事業報告

平成31年4月1日から  
令和2年3月31日まで

# 「令和1年度事業報告」目次

要 旨	1
《事業活動》	
ソルフェージュによる音楽指導及び普及（公益目的事業1）	
1. ソルフェージュに関する研究及びソルフェージュスクールの運営	
（1）ソルフェージュに関する指導等および各種楽器、声楽等の実技指導	
【週1回のレッスン及び年数回の特別レッスン】	2
【月2回の合奏のレッスン（室内合奏団のレッスン）】	3
【月1回のコーラス“レ・グルヌイユ”のレッスン】	3
【月1回の子どものコーラス“レ・テートル”のレッスン】	3
【月1回の0歳児から5歳児対象の音遊び“ウフ”のレッスン】	3
【月1回の小学低学年対象のソルフェージュと英語のコラボ “ソルフェージュ&ABC”のレッスン】	3
【月2回のリコーダーアンサンブルのレッスン】	3
【春のミュージックキャンプ】	4
【夏季合宿】	4
【楽しくアンサンブル】	4
【成人対象の講習会】	5
（2）ソルフェージュに関する研究、指導者育成及びその普及	
① 通常プロジェクト	5
【ソルフェージュスクール演奏会】	5
【前期おさらい会】【後期おさらい会】	6
【研究会】	6
【試演会】	6
【講師によるコンサート】	7
【海外の専門家（ソルフェージュ研究者等）との国際交流】	7
② 地域プロジェクト	7
（3）ソーシャルメディアの活用、資料収集、出版物刊行等「広報」の充実	
① ② ③ ④ ⑤ ⑥	8
⑦ ⑧	9
2. 音楽ホール、練習室の貸与	9
3. ソルフェージュ普及のための一般向け講習会、講演会開催	9
<事業実施のための財源>	10
《管理部門》	
1. 法人としての諸会議	11
2. 公益財団法人の情報公開	12
3. 業務執行体制の強化	12
4. 付属明細書について	12

## 要 旨

幼児から大人まで幅広い年齢層への音楽指導を通して、豊かな心を持つ人材の育成に努めるという当財団の公益目的を達成するため、各クラスの充実を図った。

未就学児の音遊びクラス「ウフ」、子どものコーラスクラス「レ・テタール」、ソルフェージュと英語の融合クラス「ソルフェージュ&ABC」に力を注いだ。とくに、「ウフ」への参加者が増える傾向にあった。大人のための基礎音楽講座を「大人の音楽の時間」と改称し、音楽の学び直しを求める大人を取り込んでいくことを試みた。開講に至らず、さらなる工夫を検討していくこととなった。

ホームページでの広報はもちろんのこと、facebook等のSNSを活用し、幅広い世代へ「ソルフェージュスクールの音楽教育」の浸透を強化した。

しかし、令和2年2月27日に安倍晋三首相が要請した「新型コロナウイルスの感染拡大防止のために全国の学校を同年3月2日から春休みまでの休校とすること」に追従して当スクールは同年3月3日から春休みにかけて休校としたため、3月中のレッスンと「おさらい会」が開けず今期最後に予定していた事業は完遂できなかった。

## 《事業活動》

### ソルフェージュによる音楽指導及び普及（公益目的事業1）

#### 1. ソルフェージュに関する研究及びソルフェージュスクールの運営

当財団の運営するソルフェージュスクールにおいて下記の事業を行う。

##### （1）ソルフェージュに関する指導等及び各種楽器、声楽等の実技指導

ソルフェージュの研究の促進及び指導者育成を目的として研究者、指導者及びこれから研究、指導を目指す者、また関心のある一般を対象とした研究発表会、講習会、音楽会等を令和2年2月末までは開催することができた。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大防止による休校措置により、同年3月のレッスンは実施することができなかった。

令和2年2月末までのレッスンで、当法人が開発したソルフェージュットやリズムカード及び以前フランスで使われていた教本を翻訳・復元した教材等を用い、ソルフェージュスクールカリキュラムに沿って、具体的にリズム・拍・音程を習得させ、読譜力・視唱力・聴音力を身に付けさせた。それに器楽、声楽等の実技指導及び年数回の特別講習会を加え、音楽文化の理解を深めさせつつ実技を習得させた。

【週1回のレッスン及び年1回の特別レッスン】 一般対象 受講生のべ 556名/年

1学期	4月6日（土）～7月23日（火）
2学期	9月6日（金）～12月24日（火）
3学期	令和2年1月7日（火）～2月29日（土）
特別レッスン	8月24日（土）及び8月25日（日）

\*レッスン及び特別レッスンの曜日、時間は月曜日を除く週6日の中から生徒と講師が相談して決めた。原則として、週1回のレッスンとし、年間合計で40回プラス特別レッスン1回を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止による休校措置により令和2年3月3日（火）から3学期末の3月19日（木）まで休校としたため、火曜日、水曜日及び木曜日は3回、金曜日と土曜日は2回のレッスンがキャンセルとなった。

**【月2回の合奏のレッスン（室内合奏団のレッスン）】 一般対象 受講生のべ115名／年**

\*成人受講生対象で月2回の日曜日、弦楽合奏のレッスンと小グループによる室内楽のレッスンを原則として月2回とし8月は休み。年間合計で22回を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止による休校措置により令和2年3月の2回のレッスンはキャンセルとした。

**【月1回のコーラス“レ・グルヌイユ”のレッスン】 一般対象 受講生のべ179名／年**

\*成人受講生対象で4月から令和2年1月まで（8月は除く）月1回土曜日に行い、同年2月終わりにレッスン予定だったが、合唱によるコロナ感染拡大を危惧し休みとした。その後新型コロナウイルスの感染拡大防止による休校措置により令和2年2月、3月はキャンセルとした。

**【月1回の子どものコーラス“レ・テタール”のレッスン】 一般対象 受講生のべ65名／年**

\*小学生から高校生対象で4月から令和2年2月まで（8月は除く）月1回日曜日に行ったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止による休校措置により令和2年3月はキャンセルとした。

**【月1回の0歳児から5歳児対象の音遊び“ウフ”のレッスン】**

一般対象 受講生のべ105名／年

\*0歳児から5歳児とその保護者を対象にして6月から令和2年2月まで（5月、8月、10月は除く）月1回日曜日に行ったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止による休校措置により同年3月はキャンセルとした。

参加者が増加する傾向にあったので、令和2年3月のキャンセルは残念だった。

**【月1回の小学低学年対象のソルフェージュと英語のコラボ**

**“ソルフェージュ&ABC”のレッスン】**

一般対象 受講生のべ42名／年

\*小学校1～3年生を対象で4月から令和2年2月まで（8月は除く）月1回日曜日に行ったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止による休校措置により同年3月はキャンセルとした。

**【月2回のリコーダーアンサンブルのレッスン】 一般対象 受講生のべ30名／年**

\*成人受講生対象で月1回行った。8月と令和2年3月は休止とした。

【春のミュージックキャンプ】 一般対象 受講生 8名

平成31年3月30日(土)、3月31日(日)2日間、当法人ホール及び教室で、普段の個人レッスンではなかなか取り組めないアンサンブルを経験し、様々なグループで用意された曲を勉強し、2日目の最後に発表会コンサートを開催した。

- 〈練習曲目〉
- ♪ ピアノトリオ K.542 モーツァルト (ヴァイオリン、チェロ、ピアノ)
  - ♪ トリオソナタ ハ長調 クヴァンツ (リコーダー、ヴァイオリン、ピアノ)
  - ♪ ピアノ連弾 ピアノとヴァイオリン その他

【夏季合宿】 一般対象 受講生7名 (Vn 2名、Va 2名、Vc 2名、Pf&Vo 1名、Vo&Vn 1名)

8月8日(木)～11日(日)3泊4日で開催

甲斐大泉 ペンションフェルマータ

中学生以上を対象として毎年行う合宿で、春のミュージックキャンプより一層深く曲に取り組み、演奏発表を目標にしていた。3人のゲスト講師の指導により、アンサンブルから全員による合奏・合唱まで様々な形の曲を勉強した。最終日には合宿の成果を参加者全員で発表するコンサートを開き、一般に公開演奏した。

～練習曲目～

- ♪ ベートーベン 弦楽四重奏 No.14 Op.131 1～4楽章
- ♪ ベートーベン ピアノ協奏曲 No.5 Op.73 2楽章
- ♪ ドフナニー ピアノ五重奏 No.1 Op.1 1楽章
- ♪ ドボルザーク ピアノ五重奏 No.2 Op.81 1楽章
- ♪ ヘンデル 歌と弦楽合奏 Ombra Mai Fu, Lascia Ch'io Pianga
- ♪ シューマン 連弾 Abendlied(Evening Song)
- ♪ ビーブル 合唱 Ave Maria

【楽しくアンサンブル】 一般対象

夏季 7月21日(日) 当法人ホール及び教室

冬季 12月15日(日) 同上

小3以上を対象とし、初見で演奏する力を養うためのアンサンブルによる1日の講座で7月と12月の2回開催した。個々の参加者の実力に合わせて無理なく楽しく、初見と共にアンサンブルの体験を積むように指導者が導いた。

夏季の会の参加者はすべて大人(Vn 4名)であった。

冬季の会には子どもも交じり(Vn 4名、Pf 2名、Vn&Pf 1名)、なごやかに楽しいアンサンブルであった。

【成人対象の講習会】 一般対象

「大人のための基礎音楽講座」という名称を「大人の音楽の時間」として募集したが、参加者が集まらず開催に至らなかった。そのため、開催日時やカリキュラムについての再検討を行い、来期はこれまでとは異なるやり方とすることとした。

(2) ソルフェージュに関する研究、指導者育成及びその普及

① 通常プロジェクト

【ソルフェージュスクール演奏会 6月30日(日) 日本橋公会堂】

外部のホールで催す年1回の定期演奏会として、ソルフェージュスクールの受講生全員が、リトミック、室内楽、器楽合奏、弦楽合奏、合唱等のいずれかに出演した。

年1回、通常は異なる日に受講しているソルフェージュスクールの受講生が一堂に集まり、数回の合同練習を通して普段学習しているソルフェージュスクールでの成果がいかにか活かされるかを体感し、また聴衆前で発表するというプロセスを学んだ。幼児のソルフェージュ及びリトミッククラスのデモンストレーションもあり、これらを一般公開してソルフェージュスクールの教育のあり方を提示した。

〈プログラム〉

第一部	1. ピアノ連弾	A	Coffee Calypso	Laura Shur
			Valse noble	Cornelius Guriltt
	B	「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より		モーツァルト
2. 室内楽	A	Three Sisters		津布染杏里
		むかしむかしの歌ひとつ		津布染杏里
	B	弦楽四重奏曲 Op.12 第1楽章		メンデルスゾーン
3. リトミックと うた		リトミック		
		ウンパッパ	作詞/峯陽 作曲/L. バート	
4. うた		Gloria		J.Berthier
		Dona nobis pacem		mündlich überliefert
第二部	5. 器楽合奏	軍隊行進曲		シューベルト
	6. 弦楽合奏	Concert a-moll		バッハ
	7. 合唱	Morgen! (あした)		R.シュトラウス
		Von ewiger Liebe (永遠の愛について)		ブラームス

【前期おさらい会 10月27日(日)当法人ホール】

【後期おさらい会 令和2年3月20日(祝・金)キャンセル】

器楽、声楽を学んでいる受講生(主に個人レッスン)は少なくとも年1回は人前で演奏披露することで、普段とは違う学習と練習を体験する大切な場であり、また生徒同士、父兄、教師にとっては個人レッスンの進捗状況を知る良い機会であったが、令和2年3月20日(金・祝)に予定していた後期おさらい会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止により同年3月2日から休校としたため、キャンセルとした。

<前期おさらい会 プログラム>

- |                    |          |                |        |
|--------------------|----------|----------------|--------|
| 1. キリンのむれは草原を駆けろ   | 平吉毅州     | 8. むこうむこう      | 中田喜直   |
| 2. ポルカ/バッグパイプ吹き    | ジョン・ジョージ | 9. ロンド(CI 二重奏) | フレイエル  |
| 3. ガラスのくつ          | ギロック     | 10. 古代メヌエット    | ラヴェル   |
| 4. タランテラ           | ブルグミュラー  | 11. 最後の陶醉      | レスピーギ  |
| 5. エリーゼのために        | ベートーヴェン  | 私を泣かせてください     | ハンデル   |
| 6. ソナタK545 1楽章     | モーツァルト   | 希望が無駄にならないといいが | ドニゼッティ |
| 7. ハフナーセレナーデより ロンド | モーツァルト   | ～生きるかいわ        |        |

生徒自身が音楽的成長や課題を見つける良い機会であった。今回は、長年ソルフェージュスクールで学んだ卒業生がプログラム最後に歌い、当スクール卒業後の成長ぶりを披露し、現役生徒に大きな励ましとなった。

【研究会 当法人ホール及び教室】

9月13日(金) (テーマ「幼稚園・保育所で行われている音楽教育 歌われている歌を中心に」)と令和2年2月14日(金) (テーマ「大人の音楽の時間について」大人にソルフェージュを教えるということ)の2回、講師一同が意見の交換をした。

【試演会 令和2年3月1日 当法人ホール】

講師が自発的に企画し実施したもので、講師有志等の独奏或いはアンサンブルによる演奏を聴き合い、日頃教える立場にある者がお互いに具体例をもって意見を述べ合うことで良い研修の機会とした。

ピアノ演奏：ノクターン「告別」/ グリンカ  
小組曲より「修道院にて」、「セレナーデ」/ ボロディン  
クラリネット、ヴァイオリン、ピアノ演奏：組曲/ ミヨー



### 【講師によるコンサート】

春と12月に開く講師及びゲスト演奏家を交えての演奏会で、「音楽は、ソロだけではなく合奏の楽しさを味わい、音楽の喜びを得る」というソルフェージュスクールの目標のひとつを、ソルフェージュスクールの講師が自らの演奏によって、より多くの方へ伝えるためのコンサートであった。春のコンサートではゲスト演奏家を交えた。

＜春のコンサート 5月12日（日）当法人ホール（有料）＞ 入場者53名

シューベルティアーデをテーマとして、ピアノ、うた、ホルン、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ及びコントラバスの演奏を披露した。

《プログラム》 3つの軍隊行進曲 D 733 Op. 51  
流れの上で D 943  
五重奏曲「ます」A-dur D 667

＜クリスマスコンサート 12月22日（日）当法人ホール（有料）＞ 入場者62名

音楽の楽しさ、心を温かくワクワクさせる演奏であったと好評を得た。

《プログラム》 カノン／パッヘルベル  
ドッペルコンチェルト／バッハ  
Pie Jesu／ボブ・チルコット  
ホワイト・クリスマス／I・バーリン  
神の御子は かいばおけに／クリスマスキャロル  
唄、子守歌／津布楽杏里  
シャンペントッカータ／ギロック  
舞踏会の美女 ほか／アンダーソン

【海外の専門家（ソルフェージュ研究者等）との国際交流】 一般対象（原則として有料）

「亀井由紀子特別公開レッスン 8月6日（金）」 受講者3組 聴講者11名

近年継続して開いてきた「亀井由紀子特別公開レッスン」がたいへん好評で、ソルフェージュスクールで学び、現在アメリカで活躍中のヴァイオリニスト・亀井由紀子氏を講師として招き、8月6日（金）に特別講習会を開いた。ソルフェージュスクールで育まれたソルフェージュ音楽教育の成果、亀井氏が恩師ヤッシャ・ハイフェッツから得た技術及び音楽に対する姿勢等を熱心に伝えてくれる講習会であった。

### ② 地域プロジェクト

児童及び高齢者を対象とした地域プロジェクトへ協力（講師派遣等）するもので、昨年度に引き続き、豊島区のNPO法人富士見台ひろば主催のクリスマスコンサートへ協力した。

(3) ソーシャルメディアの活用、資料収集、出版物刊行等広報の充実

ソルフェージ教育に必要な図書、楽譜等を購入し、ソルフェージの普及のため研究成果及び教育内容などの出版準備を進めた。また授業、事業活動及び法人運営資料等についてはホームページに掲載し、ホームページの内容充実と更新を継続し、タイムリーな情報発信を facebook と並行して行った。

① facebook 等の SNS の活用

ホームページとは別に、facebook 等の SNS を連携させて情報発信をすることにより、タイムリーで詳細なソルフェージスクールの事業内容を広報した。

② ソルフェージ教育に必要な図書、楽譜等の購入

今期の購入はなかった。

③ 機関誌「ソルフェージスクール新聞」の発行

年2回を予定していた令和1年度春夏号を10月9日に発行した後、「NEWSLETTER」と改称し、11月25日発行を第1号、令和2年1月29日発行を第2号として、各800部発行し、一般に無料配布した。今後はタイムリーな情報発信のために年5回の発行を予定する。

④ 独自に発行したソルフェージ指導楽譜を教材として使用し、一般に実費配布した。

シャセバン1 ￥550－（税込）

シャセバン2 ￥600－（税込）

シャセバン3 ￥432－（税込）

⑤ 新しい指導教材の開発・研究

他分野の研究グループ等と連携して、ソルフェージェット新版等の指導教材の作成・検討を継続した。

⑥ ソルフェージ教育の理念を著した冊子の発行（一般に実費配布）

当財団の設立者たちがソルフェージ教育の理念について書き残した文書類の整理を昨年度に引き続き行った。

⑦ ホームページの充実

広報力の強いホームページとするために更新間隔の短縮に努め、迅速な情報伝達を強化した。音楽を心の糧にし、音楽で豊かな心を育むことで人間性を高め、日本の音楽文化を進化させていけることを強く訴えるために、内容を濃くすると共にわかりやすくアピール力のある表現となるよう工夫を重ねた。

役員名簿、定款、役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程、各事業報告書及び収支計算書・貸借対照表他並びに各事業計画書及び収支予算書を公開した。

⑧ 他のデータシステムとの連携

文部科学省関係法人名鑑及び音楽教育関連データシステム等に登録をして当財団の周知向上に努めた。

## 2. 音楽ホール、練習室の貸与

当財団の所有するホール及びピアノの設置された教室（練習室）を、当財団が使用していない時間に、当財団の事業及び公益目的に合致する者に低廉な対価で貸与した。

とくに、音楽学校受験生の使用費用は一般の2割引きとして活用を促したが、利用はほとんどなく残念だった。

\* 随時受付、費用は別途料金表に公開している。

## 3. ソルフェージュ普及のための一般向け講習会、講演会開催 一般対象（無料/有料）

【合奏及び室内楽演奏法】 原則として月1回 当法人ホール

室内楽授業を、原則として月1回、一般に無料聴講できるように公開し、合奏及び室内楽の演奏法を習得してもらおうと同時にソルフェージュ教育の成果を実感してもらった。新型コロナウイルスの感染拡大防止による休校措置により令和2年3月はキャンセルとした。

【講習会・講演会】

8月6日（金）に開催した「亀井由紀子特別公開レッスン」を国際交流の場としての一般向け講習会を兼ねるものとした。

<事業実施のための財源>

本事業は指導料収入、基本財産運用益、寄付金等を主な財源とした。音楽ホール、練習室の貸与による収入は公益目的による低廉にての貸与にあたるため、財源としては多くを見込めなかった。事業の実施に必要な土地、建物は法人が所有している。

## 《 管理部門 》

### 1. 法人としての諸会議

定款の規定に基づき、評議員会及び理事会等を開催した。

定時評議員会は令和1年6月に1回、通常理事会は令和1年5月及び令和2年2月の2回、それぞれ開催した。

#### 【令和1年5月15日 決算監査】

開催場所：当財団2階会議室

出席等：監事2名出席

#### 【令和1年5月28日 令和1年度 第1回通常理事会】

開催方法：通常招集

開催場所：当財団2階会議室

決議事項： 1. 平成30年度事業報告及び決算の承認決議  
2. 平成30年度事業報告書等に係る提出書類の承認決議  
3. 令和1年度定時評議員会の招集決議

報告事項： 1. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告  
2. 資産の管理運用状況の報告  
3. 令和1年度事業計画及び収支予算書等の届出の報告  
4. 喜音会（後援会）の平成30年度決算及び令和1年度予算案の報告

出席等：理事5名、監事2名出席

#### 【令和1年6月18日 令和1年度 定時評議員会】

開催方法：通常招集

開催場所：当財団3階ホール

決議事項： 1. 平成30年度事業報告及び決算並びに平成29年度事業報告書等に係る提出書類の承認決議

報告事項： 1. 資産の管理運用状況の報告  
2. 令和1年度事業計画及び収支予算書等の届出の件

出席等：評議員5名、監事2名出席、理事5名同席

**【令和2年2月19日 令和1年度 第2回通常理事会】**

開催方法：通常招集

開催場所：当財団2階会議室

決議事項：1. 令和2年度事業計画及び収支予算書等の承認決議  
2. 「講師報酬規定」改正案の承認決議

報告事項：1. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告

出席等：理事 6 名、監事 2 名出席

## 2. 公益財団法人の情報公開

すでに公開中のものに加え、平成 30 年度事業報告書及び計算書類等、令和 1 年度事業計画書及び収支予算書等を web サイトで情報公開した。

## 3. 業務執行体制の強化

外部から 2 名を加えた理事 6 名の体制で業務執行体制を充実させた。

原則として週一で業務会議を開き、業務執行の進行状況や検討事項について打合せをして業務を執行した。また、受付事務方 4 名の受付事務業務が強化され順調に事業が遂行された。

## 4. 附属明細書について

令和 1 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。